

1 評価の観点及びその趣旨

	観 点	趣 旨
①	運動や健康・安全への知識・技能	各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。
②	運動や健康・安全への思考・判断・表現	運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。
③	主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。

2 年間指導計画

月	単元	学習事項（指導内容）	時数	観点	評価基準	評価方法
4 9 1	体づくり運動	体づくり運動 (ラジオ体操第一)	7	① ② ③	・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝えている。 ・積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話合いに参加しようとする、健康・安全に気を配ったりしている。	○観察・学習カード ○観察 ○観察
4 5 5	陸上競技	・短距離走 ・走り幅跳び	11	① ② ③	(知識) ・自己の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びを味わうことができることについて、言ったり書き出したりしている。 ・オリンピック・パラリンピック競技大会において主要な競技として発展した成り立ちがあることについて言ったり書き出したりしている。 ・各種目において用いられる技術の名称があり、それぞれの技術で動きのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ・各種目で主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出したりしている。 (技能) 短距離走 ・クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速することができる。 ・自己に合ったピッチとストライドで速く走ることができる。 ・学習した内容を生かし、記録を向上することができる。 走り幅跳び ・自己に適した距離、又は歩数の助走をすることができる。 ・踏切線に足を合わせて踏み切ることができる。 ・かがみ跳びなどの空間動作からの流れの中で着地することができる。 ② ・提示された動きのポイントやつまずきの例を参考に、仲間の課題や出来を伝えている。(表現) ・練習や競争する場面で、最善を尽くす、勝敗を受け入れるなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。(表現) ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。(思考) ・提供された練習方法から、自己の課題の習得に適した練習方法を選んでいる。(判断) ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。(判断) ③ ・陸上競技の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ・用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・健康・安全に留意している。	○定期考査・観察 ○観察・学習カード ○観察・学習カード ○観察・学習カード ○実技テスト・観察 ○観察 ○実技テスト・観察 ○実技テスト・観察 ○実技テスト・観察 ○観察 ○観察 ○観察・学習カード ○観察・学習カード ○観察 ○観察 ○観察 ○観察
6	球技(ネット型)	バレーボール	8	①	(知識) ・集団対集団で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・学校で行う球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて、言ったり書き出したりしている。 ・技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ・試合では、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて、学習した具体例を挙げている。 ・球技は、それぞれの型や運動種目によって主として高まる体力要素が異なることについて、学習した具体例を挙げている。 (技能) 〈ボールや用具の操作〉 ・サーブでは、ボールの中心付近で捉えることができる。 ・ボールを返す方向に体を向けて打つことができる。 ・味方が操作しやすい位置にボールをつなぐことができる。 ・相手側のコートの空いた場所にボールを返すことができる。 ・テイクバックをとって肩より高い位置からボールを打ち込むことができる。 (定位置に戻るなどの動き) ・相手の打球に備えた準備姿勢をとることができる。 ・プレイを開始するときは、各ポジションの定位置に戻るることができる。 ・ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対することができる。	○定期考査・観察 ○定期考査・観察 ○定期考査・観察 ○観察・学習カード ○定期考査・観察 ○実技テスト・観察 ○観察 ○観察 ○観察 ○観察 ○観察 ○観察 ○観察

月	単元	学習事項（指導内容）	時数	観点	評価基準	評価方法
	球技（ネット型）	バレーボール		②	・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来を伝えている。（表現） ・練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。（表現） ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。（思考） ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。（思考） ・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。（判断） ・仲間と話し合う場面で、チームへの関わり方を見付けている。（判断） ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。（判断）	○観察 ○観察 ○観察 ○観察・学習カード ○観察・学習カード ○観察 ○観察・学習カード
				③	・球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 ・作戦などについての話し合いに参加しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。 ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。	○観察 ○観察 ○観察 ○観察 ○観察 ○観察
7	水泳	・平泳ぎ ・クロール ・背泳ぎ	9	①	（知識） ・陸上競技（短距離走）と同様（技能）〈クロール〉 ・一定のリズムで強いキックを打つことができる。 ・水中で肘を曲げて腕全体で水をキャッチし、効率よく水をかくことができる。 ・プルとキック、ローリングの動作に合わせて横向きで呼吸をすることができる。 〈平泳ぎ〉 ・肩より前で、両手で逆ハート型を描くように水をかくことができる。 ・プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して息を吸い、キックの蹴り終わりに合わせて伸び(グライド)を取り進むことができる。 〈背泳ぎ〉 ・両手を頭上で組んで、腰が「く」の字に曲がらないように背中を伸ばし、水平に浮いてキックをすることができる。 ・水中では、肘が肩の横で60～90度程度曲がるようにしてかくことができる。 ・水面上の腕は、手と肘を高く伸ばした直線的な動きをすることができる。	○陸上競技と同様 ○観察 ○実技テスト・観察 ○実技テスト・観察 ○観察 ○観察 ○実技テスト・観察
				②	・提供された練習方法から、自己の課題の習得に適した練習方法を選んでいる。（表現） ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。（思考） ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。（思考） ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。（判断）	○観察 ○観察 ○観察 ○観察・学習カード
				③	・水泳の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。 ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。	○観察 ○観察 ○観察 ○観察
9	球技（ベースボール型）	ソフトボール	9	①	（知識） ・球技（バレーボール）と同様（技能）〈基本的なバット操作〉 ・地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。 〈走塁〉 ・打球の状況によって塁を進んだり戻ったりすることができる。 〈ボール操作〉 ・ボールの正面に回り込んで、緩い打球を捕ることができる。 ・投げ腕を後ろに引きながら投げ手と反対側の足を踏み出し、体重を移動させながら、大きな動作でねらった方向にボールを投げることができる。 ・守備位置から塁上へ移動して、味方からの送球を受けることができる。 〈定位置での守備〉 ・決められた守備位置に繰り返し立ち、準備姿勢をとることができる。 ・各ポジションの役割に応じて、ベースカバーやバックアップの基本的な動きができる。	○バレーボールと同様 ○実技テスト・観察 ○定期考査・観察 ○実技テスト・観察 ○実技テスト・観察 ○観察
				②	・球技（バレーボール）と同様	○バレーボールと同様
				③	・球技（バレーボール）と同様	○バレーボールと同様
10	陸上競技	長距離走	9	①	（知識） ・陸上競技（短距離走）と同様（技能） ・腕に余分な力を入れないで、リラックスして走ることができる。 ・自己に合ったピッチとストライドで、上下動の少ない動きで走ることができる。 ・ペースを一定にして走ることができる。 ・学習した内容を生かし、記録を向上することができる。	○陸上競技と同様 ○観察 ○観察 ○観察・学習カード ○実技テスト・観察
				②	・陸上競技（短距離走）と同様	○陸上競技と同様
				③	・陸上競技（短距離走）と同様	○陸上競技と同様
11	ダンス	リズム、創作	10	①	（知識） ・ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力について理解している。 ・ダンスは、様々な文化の影響を受け発展したことについて、言ったり書き出したりしている。 ・ダンスには、表現の仕方に違いがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ・ダンスはリズムカルな全身の動きに関連した体力が高まることについて、言ったり書き出したりしている。	○定期考査・観察 ○定期考査・観察 ○観察・学習カード ○観察・学習カード

月	単元	学習事項（指導内容）	時数	観点	評価基準	評価方法
11	ダンス				<p>(技能) 創作ダンス</p> <p>A 身近な生活や日常動作(スポーツいろいろ, 働く人々 など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番表したい場面や動きを, スローモーションの動きで誇張したり, 何回も繰り返したりして表現することができる。 <p>B 対極の動きの連続など(走る-跳ぶ-転がる, 走る-止まる, 伸びる-縮む など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「走る-跳ぶ-転がる」をひと流れでダイナミックに動いてみてイメージを広げ, 変化や連続の動きを組み合わせで表現することができる。 ・「走る-止まる」では, 走って止まるまでをひと流れで動いたところからイメージを広げて表現することができる。 ・「伸びる-縮む」では身体を極限・極小まで動かし, イメージを広げて表現することができる。 <p>C 多様な感じ(激しい, 急変する, 軽快な, 柔らかい, 鋭い など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活や自然現象, 人間の感情などの中からイメージを捉え, 緩急や強弱, 静と動などの動きを組み合わせで変化やメリハリを付けて表現することができる。 <p>D 群(集団)の動き(集まる-とび散る, 磁石, エネルギー, 対決 など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と関わり合いながら密集や分散を繰り返し, ダイナミックに空間が変化する動きで表現することができる。 <p>E 学習した内容を生かし, ダンスをつくるができる。</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示された踊りのポイントやつまずきの事例を参考に, 仲間やグループの課題や出来映えを伝えている。(表現) ・学習した安全上の留意点を, 他の学習場面に当てはめ, 仲間に伝えている。(思考) ・提示された事例を参考に, 自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。(思考) ・提供されたテーマや表現の仕方から, 自己やグループの課題に応じた練習を選んでいる。(判断) ・仲間と話し合う場面で, グループへの関わり方を見付けている。(判断) ・体力の程度や性別等の違いを踏まえて, 仲間とともに楽しむための表現や交流を行う方法を見付け, 仲間に伝えている。(判断) 	<p>○実技テスト・観察</p> <p>○観察・学習カード</p> <p>○観察・学習カード</p> <p>○観察・学習カード</p> <p>○観察・学習カード</p> <p>○観察・学習カード</p> <p>○実技テスト・観察</p> <p>○観察</p> <p>○観察</p> <p>○観察</p> <p>○観察</p> <p>○観察</p>
12	球技(ゴール型)	サッカー	8	① ② ③	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技(バレーボール)と同様 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをすることができる。 ・マークされていない味方にパスを出すことができる。 ・得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。 ・(空間に走り込むなどの動き) ・ボールとゴールが同時に見える場所に立つことができる。 ・パスを受けるために, ゴール前の空いている場所に動くことができる。 ・ボールを持っている相手をマークすることができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技(ゴール型)と同様 	<p>○バレーボールと同様</p> <p>○実技テスト・観察</p> <p>○観察</p> <p>○実技テスト・観察</p> <p>○観察</p> <p>○観察</p> <p>○実技テスト・観察</p> <p>○球技と同様</p>
1	器械体操	・マット運動 ・平均台	7	① ② ③	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(知識) ・陸上競技(短距離走)と同様 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マット運動では, 回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと, 条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 ・平均台運動では, 体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに行うこと, 条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技(短距離走)と同様 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技(短距離走)と同様 	<p>○陸上競技と同様</p> <p>○実技テスト・観察</p> <p>○実技テスト・観察</p> <p>○陸上競技と同様</p> <p>○陸上競技と同様</p>
2 5 3	武道	剣道	7	①	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(知識) ・武道は対人的な技能を基にした運動で, 我が国固有の文化であることについて, 言ったり書き出ししたりしている。 ・武道には技能の習得を通して, 人間形成を図るという伝統的な考え方がることについて, 言ったり書き出ししたりしている。 ・武道の技には名称があり, それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることについて, 学習した具体例を挙げている。 <p>○技能〔基本動作〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構えでは, 相手の動きに応じて自然体で中段に構えることができる。 ・体さばきでは, 相手の動きに応じて歩み足や送り足をすることができる。 ・基本の打突の仕方と受け方では, 中段の構えから体さばきを使って, 面や胴(右)や小手(右)の部位を打ったり受けたりすることができる。 <p>〔しかけ技〕(二段の技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の小手打ちに相手に対応したとき, 隙ができた面を打つことができる。(小手-面) ・最初の小手打ちに相手に対応したとき, 隙ができた胴を打つことができる。(小手-胴) <p>〔引き技〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手と接近した状態にあるとき, 隙ができた胴を退きながら打つことができる。(引き胴) <p>〔応じ技〕(抜き技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手が面を打つとき, 体をかわして隙ができた胴を打つことができる。(面抜き胴) 	<p>○定期考査・観察</p> <p>○定期考査・観察</p> <p>○定期考査・観察</p> <p>○観察</p> <p>○観察</p> <p>○実技テスト・観察</p> <p>○実技テスト・観察</p> <p>○実技テスト・観察</p> <p>○実技テスト・観察</p>
4	体育理論	運動やスポーツが心身や社会性におよぼす効果	1	① ② ③	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツは, 体の発達やその機能の維持, 体力の向上の効果や自信の獲得, ストレス解消の心理的効果, 適切な人間関係を築くなど社会性を高める効果が期待できることを理解している。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツが心身や社会性におよぼす効果について, 自己の課題を発見し, よりよい解決に向けて思考し判断するとともに, 他者に伝えている。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツが心身や社会性におよぼす効果についての学習に積極的に取り組もうとしている。 	<p>○定期考査・観察</p> <p>○観察</p> <p>○観察</p>

月	単元	学習事項（指導内容）	時数	観点	評価基準	評価方法
4	体育理論	運動やスポーツの学び方	1	① ② ③	・運動やスポーツには、特有の技術があり、その学び方には、運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があることを理解している。 ・運動やスポーツの学び方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 ・運動やスポーツの学び方についての学習に積極的に取り組もうとしている。	○定期調査・観察 ○観察 ○観察
		安全な運動やスポーツの行い方	1	① ② ③	・運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど健康・安全に留意する必要があることを理解している。 ・安全な運動やスポーツの行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 ・安全な運動やスポーツの行い方についての学習に積極的に取り組もうとしている。	○定期調査・観察 ○観察 ○観察
4 5 3	保健	生活習慣病の予防	2	① ② ③	・生活習慣病は、日常生活習慣が主な要因となって起こること、また、生活習慣病の多くは、適切な運動、食事、喫煙や過度の飲酒をしない、口腔の衛生を保つことなどの生活習慣を身に付けることによって予防できることを理解している。 ・生活習慣病とその予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともにそれら表現している。 ・がんとその予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○定期調査・観察 ○観察 ○観察
		がんの予防	1	① ② ③	・がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する病気であり、その要因には様々なものがあること、がんの予防には、適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であることを理解している。 ・がんとその予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それら表現している。 ・がんとその予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○定期調査・観察 ○観察 ○観察
		喫煙と健康	1	① ② ③	・たばこの煙の中の有害物質により、喫煙すると毛細血管の収縮、心臓への負担、運動能力の低下など様々な急性影響が現れること、また、常習的な喫煙により、がんや心臓病など様々な病気を起こしやすくなることを理解している。また、未成年者の喫煙は、体に大きな影響を及ぼし、依存症になりやすいことを理解している。 ・飲酒と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それら表現している。 ・喫煙と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○定期調査・観察 ○観察 ○観察
		飲酒と健康	1	① ② ③	・飲酒をすると、エチルアルコールによって思考力、自制力、運動機能が低下したり、事故などを起こしたりすること、急激に大量の飲酒をすると、急性中毒で死に至ることもあることを理解している。また、常習的な飲酒により、肝臓病や脳の病気など様々な病気を起こしやすくなること未成年者の飲酒は、体に大きな影響をおよぼし、依存症になりやすいことを理解している。 ・飲酒と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それら表現している。 ・飲酒と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○定期調査・観察 ○観察 ○観察
		薬物乱用と健康	1	① ② ③	・薬物を乱用すると激しい急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、中断すると精神や身体に苦痛を感じるようになるなど様々な障害が起きること、家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあることを理解する。 ・薬物乱用と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それら表現している。 ・薬物乱用と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○定期調査・観察 ○観察 ○観察
		喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ	1	① ② ③	・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心、なげやりな気持ち、過度のストレスなどの心理状態、断りにくい人間関係、宣伝・広告や入手し易さなどの社会環境によって助長されること、それらに適切に対処する必要があることを理解している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけについて、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それら表現している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけについての学習に自主的に取り組もうとしている。	○定期調査・観察 ○観察 ○観察
		傷害の発生要因と防止	1	① ② ③	・多くの傷害は、心身の状態や行動のしかたなどの人的要因と、生活環境における施設・設備の状態や気象条件などの環境要因が関わり合って発生することを理解している。 ・傷害の発生要因とその防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それら表現している。 ・傷害の発生要因とその防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○定期調査・観察 ○観察 ○観察
		交通事故の要因と傷害の防止	1	① ② ③	・交通事故による傷害を防止するには、車両の特性を知り、交通法規を守り、心身の状態を把握し、車両、道路、気象条件などの周囲の状況に応じて、安全に行動することが必要であることを理解している。 ・交通事故の発生要因とその防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それら表現している。 ・交通事故の発生要因とその防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○定期調査・観察 ○観察 ○観察
		犯罪被害の防止	1	① ② ③	・犯罪被害の要因は、人的要因や環境要因などが関わり合っており、人的要因に対しては、危険を予測し、判断して、犯罪を避ける行動をとること、環境要因に対しては、周囲の人の関心を高めることなどの対策があることについて理解している。 ・犯罪被害とその防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それら表現している。 ・犯罪被害の防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○定期調査・観察 ○観察 ○観察
自然災害による傷害の防止	1	① ② ③	・自然災害による傷害には地震、台風、大雨、竜巻、火山の噴火、落雷、大雪などによるものと、それに伴って発生する二次災害によるものがあること、日頃から災害時の安全の確保に備えておくこと、災害情報を正確に把握すること、災害時には周囲の状況を的確に判断し、冷静かつ迅速に行動する必要があることを理解している。 ・自然災害による傷害とその防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それら表現している。 ・自然災害による傷害の防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○定期調査・観察 ○観察 ○観察		

月	単元	学習事項（指導内容）	時数	観点	評価基準	評価方法
		応急手当の基本	1	①	・傷害が発生した際に、その場に居合わせた人が応急手当をすることで、傷害の悪化を防止しできる、心肺停止に陥った人に遭遇したときの応急手当は、心肺蘇生法があることを理解している。	○定期考査・観察
				②	・応急手当の意義や目的、手順について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	○観察
				③	・応急手当の意義や目的、手順についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○観察
		心肺蘇生法	2	①	・気道確保・人工呼吸・胸骨圧迫、AEDなどの心肺蘇生法を身に付けている。	○定期考査・観察
				②	・反応がないときの応急手当の方法について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	○観察
				③	・反応がないときの応急手当の方法についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○観察
		出血があるときの応急手当	1	①	・出血があるときの応急手当の基本や方法を理解し、正しい応急手当の方法を身に付けている。	○定期考査・観察
				②	・出血があるときの応急手当について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	○観察
				③	・出血があるときの応急手当についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○観察
		外傷の応急手当	2	①	・打撲傷などの外傷の応急手当の基本や方法を理解し、正しい応急手当の方法を身に付けている。	○定期考査・観察
				②	・外傷の応急手当の方法について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともにそれらを表現している。	○観察
				③	・外傷の応急手当の方法についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○観察